

おはようございます。(各教室からあいさつが聞こえる。)

39日間の夏休みが終わりました。3年前の夏休みと同じとは言えませんが、ニュースでは、海や川、プールで泳いだり、バーベキューをしたり、夏休みしか体験できないことにチャレンジしたりしている様子や、お爺さんやお婆さんに会いに行っている様子等が紹介されていました。みなさんも楽しい夏休みを過ごせましたか。

いよいよ1年間で1番長い学期、2学期が始まります。1学期終業式の時に2つお話しをしました。覚えていますか。

「自分の命を守ること」

- ①交通ルールを守る。
- ②感染症対策、熱中症対策をしっかりとやる。

「気づき」「考え」「行動する」。

- ①家族や地域の人、自分と関わってくれた人の良いところを見つけること。
- ②夏休み中、いろいろな体験を通して思ったことや考えたことを家族に話してみる。
- ③目標をもつこと。

でした。このお話夏休み中守れましたか。

今、3人の児童代表の言葉がありました。勉強のこと、あいさつのこと、行事のこと、習い事のこと等、一人一人「気づき」「考え」「行動する」3つの言葉につながるめあてをたてて、2学期をがんばっていこうと話をしてくれました。

さて、みなさんも2学期、この3つの言葉を意識して学校生活を送ることができるようにある言葉を紹介したいと思います。聞いてください。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう

「目」は、人のよいところを見るために使おう

「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう

「手足」は、人を助けるために使おう

「心」は、人の痛みがわかるために使おう

これは、腰塚勇人（こしづかはやと）さんという元中学校の先生の言葉です。

腰塚さんは、スキーの事故で首を骨折し、お医者さんから一生歩くことができなくなるかもしれないと言われ、生きる意欲を失いかけたそうです。

しかし、同じ学校の先生や生徒たちの支えによって、ありのままの自分を大切に、いろいろなことにチャレンジして、多くの学校でお話ができるまで回復されました。こうした人生を送ってきた腰塚さんが、多くの方々に支えられてつなげた自分の命、この命を周りの人たちに使っていこう、命が喜ぶために使おうと感じ誓った言葉です。

人のよい所を「目」でみつけ「口」で伝えてあげましょう。「耳」でしっかりと聞いてあげましょう。困っている人がいたら、どうすればよいか考え「手、足」を使って助けてあ

げましょう。人の悲しみやがんばりを見つけ優しい言葉がけができる「心」をもちましよう。

今、紹介した5つの言葉は、「気づき」「考え」「行動する」この3つの言葉につながります。目、口、耳、手足、そして心。友達や周りの人の体や心を傷つけるのではなく、喜びやうれしさで相手の心をいっぱいにしてあげましょう。

2学期末、皆さんが、さらに一回りも二回りも成長している姿が見られると思います。とても楽しみにしています。